

平成28年度
日田市の財政状況

市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金や地方交付税などが、どれくらい入り（歳入）、どのような事業にどれくらい使われたか（歳出）など、市の財政状況について、平成28年度決算と平成29年度上半期（4～9月）の状況をお知らせします。

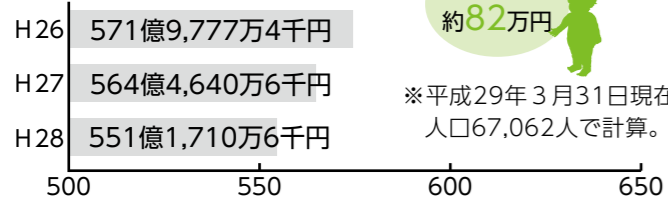
■特別会計（緑色は歳入、黒色は歳出）

会計名	決算額
国民健康保険	103億7,231万7千円
後期高齢者医療	99億8,473万4千円
介護保険	8億3,686万9千円
診療所事業	8億3,329万5千円
簡易水道事業	66億6,654万5千円
給水施設事業	66億1,274万7千円
公共下水道事業	1億6,669万8千円
特定環境保全公共下水道事業	1億6,669万8千円
農業集落排水事業	6億3,122万円
住宅新築資金等貸付事業	6億1,496万円
情報センター事業	2,340万8千円
	2,255万5千円
	18億5,339万1千円
	18億5,247万8千円
	2,903万1千円
	2,903万円
	2億2,603万3千円
	2億2,585万2千円
	243万7千円
	239万7千円
	5億6,728万6千円
	5億6,706万3千円

※特定の事業を行うために一般会計と区別して設置している特別会計は、全ての会計区分において黒字又は歳入歳出同額決算となりました。

※公共下水道事業は、平成29年3月31日までの打切決算。平成29年4月1日からは地方公営企業法の全部適用によって、公営企業会計へ移行しています。

■地方債残高



■水道事業（緑色は歳入、黒色は歳出）

会計名	決算額
収益的収入	9億6,589万2千円
収益的支出	8億3,201万5千円
資本的収入	7,079万2千円
資本的支出	3億5,869万7千円

※収益的収入及び支出…水道水の供給や施設の維持管理のために必要な経費を中心とした営業活動による収支。

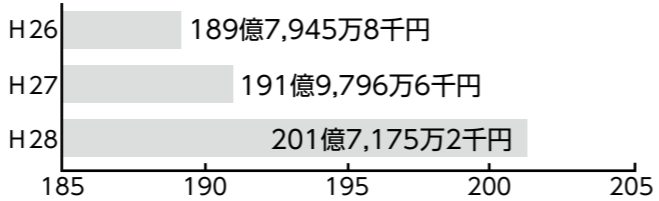
※資本的収入及び支出…水道施設の更新や整備などの建設に関わる収支。

給水人口：49,333人／配水量：5,069,829m³／
1日最大配水量：16,296m³／1日平均配水量：13,890m³／
一人1日最大配水量：330ℓ／総有収水量：4,641,748m³／
有収率：91.56%

■歳出（目的別）

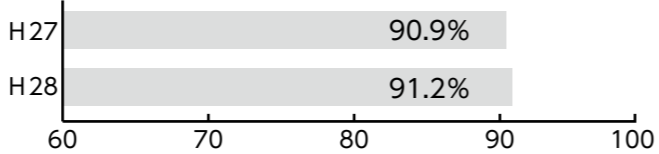
総務費（46億7,524万1千円）	12.8%
民生費（126億8,964万8千円）	34.6%
衛生費（27億3,946万9千円）	7.5%
農林水産業費（15億3,201万3千円）	4.2%
商工費（13億8,750万6千円）	3.8%
土木費（37億4,407万3千円）	10.2%
教育費（38億6,849万2千円）	10.5%
公債費（44億8,912万1千円）	12.2%
その他（15億2,413万9千円）	4.2%

■基金残高



※条例に基づいて設置している基金は、特定の目的のために活用する貯金です。

■経常収支比率

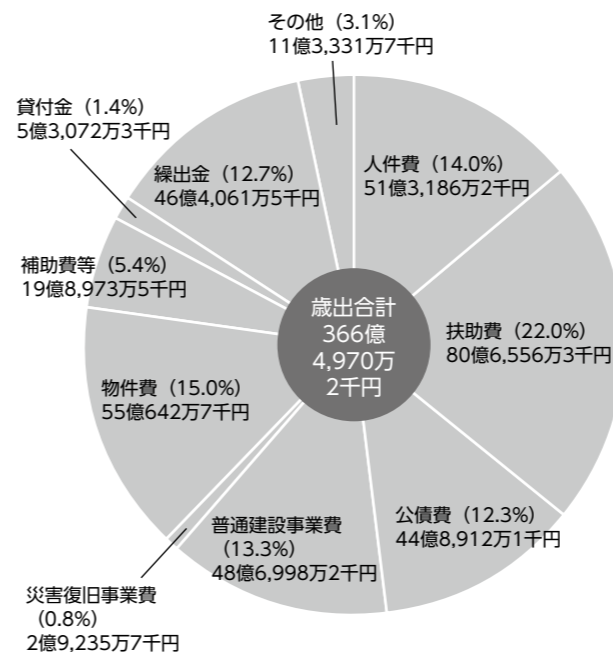
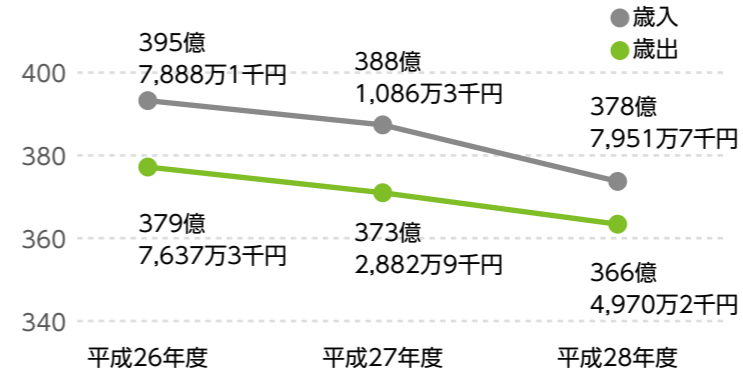


※人件費や扶助費、公債費など毎年必要となる経費を、市税や地方交付税を中心とする比較的安定している収入で割った指数が経常収支比率です。この比率が低いほど、道路や橋、学校などの公共施設の建設事業等に一般財源を充てることができます。

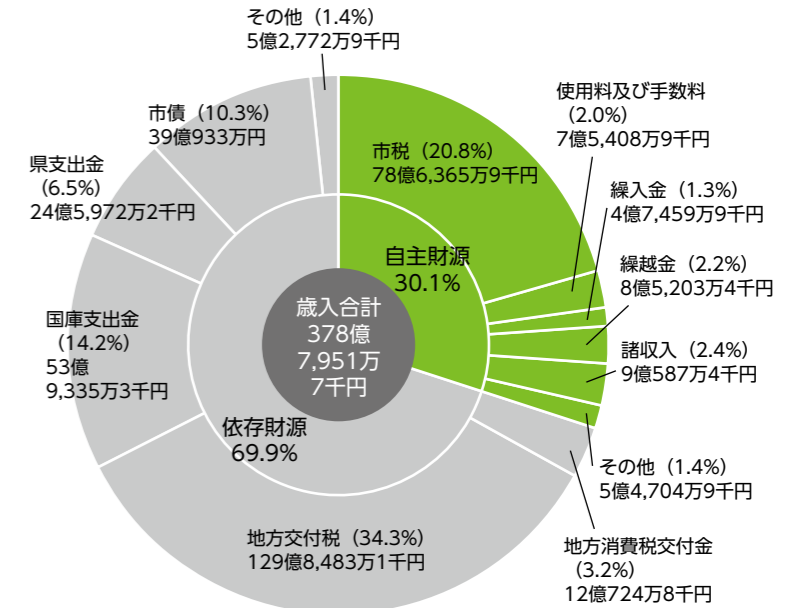
※一般財源…歳入のうち市税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる資金。

次いで、施設の維持管理などに要する経費である物件費が55億642万7千円、特別職や職員給与、議員の報酬などの人件費が51億318万6千円、公共施設の増設などに要する普通建設事業費が48億699万8千円、建設事業を行うときに借入した市債を返済するための公債費が44億891万2千円、個人や各種団体への補助金交付などの補助費等が19億897万3千円などとなっています。

■一般会計決算規模の推移



歳出額 366億4,970万2千円
(前年度比 -6億7,912万7千円)



歳入額 378億7,951万7千円
(前年度比 -9億3,134万6千円)

■自主財源（市が自主的に収入できる財源）
■依存財源（国や県等に頼った財源）

形式収支で約12億3千万円の黒字
平成28年度の決算は、歳入総額378億7951万7千円、歳出総額366億4970万2千円となり、黒字となりました。

歳出を抑制し健全な財政運営に努めた結果、形式収支で約12億3千万円の黒字となりました。

なお、このうち約7600万円は、平成29年度に繰り越して取り組む事業の財源となります。

【歳入】
市に入った平成28年度の一般会計の歳入は378億7951万7千円でした。その内訳は、皆さんから納めていただいた市税が歳入総額の20.8%を占め、78億6365万9千円となり、国からの地方交付税は、129億8483万1千円となっています。

・依存財源と自主財源
依存財源とは、地方交付税などのように国や県等に頼った財源のことをいい、一方、自主財源とは、市税や使用料・手数料などのように市が自主的に収入することができるもので、自主財源の割合が高ければ高いほど、その用途の決定において自主性が高いといえます。

【歳出】
歳出決算を性質別に見ると、高齢者や児童などに対して行う様々な支援に要する扶助費が80億6556万3千円となっています。